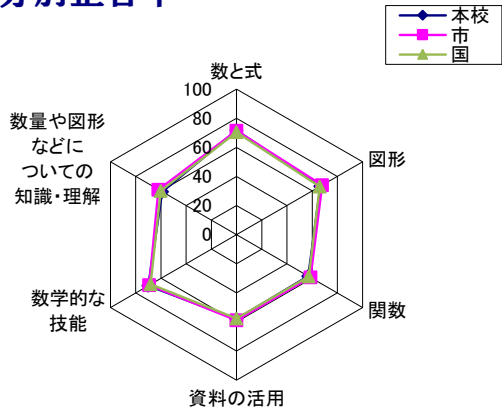


宇都宮市立陽南中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

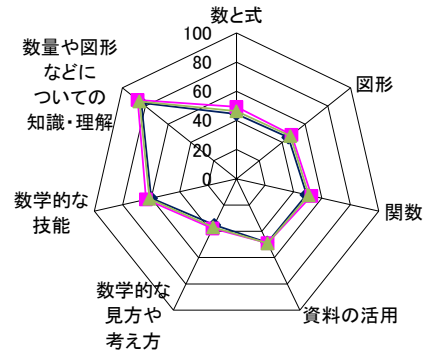
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	71.6	71.4	70.4
	図形	66.5	67.9	66.0
	関数	56.9	58.6	57.4
	資料の活用	58.1	58.9	57.6
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	70.0	69.3	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	59.1	61.9	60.2



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	44.4	49.4	46.3
	図形	45.4	48.3	47.1
	関数	49.3	52.7	50.8
	資料の活用	48.6	49.0	49.1
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	35.2	37.8	36.8
	数学的な技能	60.1	63.7	61.2
	数量や図形などについての知識・理解	83.5	86.7	85.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○ 負の数を含んだ計算では県平均を14.5ポイント、全国平均を10ポイント上回っている。 ○ 他の多くの内容でも県平均を5ポイント程度上回っていて、理解の定着が見られる。 ● 等式の変形では、県の平均を1.2ポイント上回っているものの、全国平均を3.6ポイント下回っている。	・小学校程度の基礎的な計算力が身につけていない生徒が多数見受けられるので、授業のスタートの5分間の計算演習を継続していくと共に、個別指導により力を入れて指導していく。
図形	○円柱の体積を求める問題では県平均を8ポイント、全国平均を8.6ポイント上回っている。 ●錯角の位置や平行四辺形の性質、仮定の意味などの証明につながる内容は全般的に苦手とし、県や全国平均を5ポイント程度下回っている。 ●回転体になる平面図形や立方体の見取り図など、平面図形、空間図形全般を苦手とし、県や全国平均を5ポイント程度下回っている。	・平面図形や空間図形を苦手としている生徒が多数みられるので、基本的な問題を多く取り入れ、段階的に理解していけるようにする。 ・演習問題の中で、1、2年時の内容の学び直しを含めて、数多くの問題を解かせ、確実に習得させるよう努めていく。
関数	関数の関係を表現する問題や比例のときの値を求める問題では県平均、全国平均とほぼ同じである。 ○グラフを基に答える問題では県平均を7ポイント、全国平均を7.3ポイント上回っている。 ●1次関数の表を選ぶ問題では県平均を3.6ポイント、全国平均を4.2ポイント下回っている。	・関数についての苦手意識が強い生徒が多いので、実生活に役立つ事例や興味・関心を高める事例を意識して指導していく。また、「表」「式」「グラフ」を関連づけながら、理解を促すよう努めていく。 ・考え方を丁寧に、繰り返し指導することで理解を深めさせる。
資料の活用	●度数分布表から相対度数を求めたり、「同様に確からしい」ことを説明を選ぶ問題では県平均、全国平均を3ポイント程度下回っている。	・基本的な用語を確実に理解させていく。 ・資料の傾向を捉え、理由を的確に説明できるよう、普段の授業から言語活動を意識して取り入れ、自分の考えを発表できるよう指導の充実を図る。